

いよいよ、二学期ですね。ますます伸びる学期、「できる、できる」を二十回唱えて、明るく楽しく積極的に勉強や運動をしましょう。

【お箸の日って知ってますか】

八月四日は箸の日です。



日本の食文化は米と箸を中心に育ってきました。箸は『古事記』にも登場し『万葉集』では日常の食器となり、箸を使うに適した調理や作法も生まれました。食前に箸を手でささげて「いただきます」と祈るのは、ひとつには米作りに対する感謝の心、食物をいただくことのできる幸せへの感謝と共に、食事とは、箸を神の依代として天地自然(神)の生命をわが生命にいただくという象徴的な行事だからだそうです。食事は大切な儀式なので、すね。

ここでクイズです。

問① 世界の食事の仕方には、大きく分けて三つあります。手食、箸食、ナイフ・フォーク食。どの食べ方が一番多いでしょう。

(答え) 手食 四割 箸食 三割

ナイフ・フォーク食 三割

問② 箸でどんな働きができるでしょう。

(答え) つまむ、挟む、切る、裂く、ほぐす

問③ 日本語の中に、ハシとつく言葉は他にありますか。それらに共通することは何ですか。

(答え) 橋 梯子 柱 (木でできている・長い)

つまり、端と端を繋ぐものが、橋であり、梯子であり、柱です。

問④ では、箸は何と何を繋ぐのでしょうか。

(答え) 食物と体をつなぐもの。

日本ではお箸は神の依代として神聖視されてきた面があります。箸杉信仰。祝い箸。お箸初め式。長寿箸。延命箸。福寿箸。開運箸。夫婦箸。等々。箸には人々のいろいろな願いが込められているのです。

弘法大師は、箸に衆生済度の祈りをこめられたそうです。生きることのシンボルとしての箸、長生きを願い日常の願い事を成就させるための「かけはし」としての箸、彼岸すなわちあの世の極楽と、現世の此岸とを結ぶ「かけはし」という意味もあるとのこと。

日本では幼児期から箸を使うことで、手先の器用さをはぐくんできました。幼児期の箸さばきが脳の形成に大きく影響しているといわれています。小さいながらも、静かな美を表現してきた日本のお箸ほど美しく使いやすいものはありません。

日本は世界に比類ないお箸の国なのです。日本人が器用で、知的レベルが高いのは、箸の使用と関係ありという説もあるほどです。ちなみに、ナイフ・フォークは狩猟民族が獲物を捕らえる時の道具が連想されます。

【立秋】 八日

「秋きぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞ驚かれぬる」という歌のよるに、そろそろ秋風の吹く頃。

【処暑】 二十四日頃

立秋に続く二十四節気のひとつ。夏の暑さがようやくおさまる季節。「処」はとどまるという意味。



子育てワンポイントアドバイス  
親も自分育てをしてみよう！



子育てを通して、親自身もいろんな課題を与えられますね。子供は親の言う通りにしません、親のすることは真似ると言われています。子供にさせるのではなく、親自身が良い見本をみせる努力を続けることが『しつけ』の早道であり子供も自ずから自立の道を歩もうとするのではないのでしょうか。

ある新聞に、ドイツでは公共の場に犬をリードなしで連れて歩く人が多いという記事が載っていました。「座れ」や「伏せ」がしつけどと勘違いする人も多いですが、十数年先を見据えて訓練し、飼い主と犬との信頼関係を育んできた賜物です。

幼児の頃は目先のしつけも大切です。子供が成長する過程で、時には挫折することもありますが、そんな時こそ、隣れみで貴重な体験の芽を摘むのではなく、これは強くなるチャンスだ！とプラスにとらえて、的確なアドバイスや励ましをすることが大切です。先を見据えた物事のとらえ方や子供を信じる真摯な眼差しがあつてこそだと思えます。一朝一夕の説教やごまかしは通用しません。子育ても長い目で親子の信頼関係が築けるよう、子供を信じて放てるまで親も自分をみつめ自分育てをしてみませんか。

寺子屋の活動の中にアドバイスやヒントが見つけれられると思います。将来を楽しみに共に歩んでいけたらと思います。

(越智京子)

# 和歌コーナー

たけぼつくり むずかしくなかったよ

ちゃんとのれたよ たのしかったよ

年長 M・S

☆竹ぼつくりにじょうずにのれてよかったですね。

たけとんぼ とぼすのがたのしかったよ

いっばいとんだよ

年長 Y・K



☆竹とんぼをとぼすこつを、うまくつかんだのね。

おまつちゃと たけとんぼに でんでんだいこ

ぜんぶたのしい きょうのてらこや

年長 K・S

☆まあ、ぜんぶたのしくてよかった！  
お抹茶もおいしくいただきましたね。



竹とんぼ よくとんだんだ うれしいな きょう

はずつとたのしかったよ

年長 Y・T

☆手作りの竹とんぼ、じょうずにとぼせたのね。

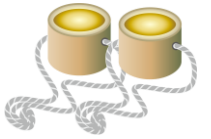
でんでんだいこは いいおとしたよ

かざりもいっばいつけたんだよ

小学一年 K・A



☆でんでん太鼓に、きれいにかざりをつけていま  
したね。いい音がしておもしろいですね。



竹とんぼ いっばいとんだよ うれしかった

竹ぼつくりも うまくできたよ

小学三年 M・A

☆愛子ちゃんは、こつをつかむのがじょうずです。

たけとんぼ いっばいとんだよ うれしいな

でんでんだいこもちゃんとできたよ

たけとんぼ 初めてしたのにできたんだ

うれしかったよ またやりたいな

かざりつけ でんでんだいこにつけたんだ

シールやテープ いろいろあったよ

竹ではね いろいろ作れる

すごかった たけとんぼがね 一番だった

小学三年 J・R

☆たくさん和歌ができましたね。すごい！

竹とんぼ むずかしいけど よくとぶよ

だれがいちばん よくとぶのかな

小学四年 Y・Y

☆弟の慶二郎くんも、とぼしていましたね。

竹とんぼ ドラえもん竹コブター

頭につけて とべたらいいな

小学五年 Y・H

☆竹コブターみたいでしたね。

竹遊び 竹ぼつくりが楽しいな

他のあそびも 楽しかったよ

小学六年 T・I



☆さすが六年生！竹ぼつくりの名人です。小さい子  
達のお世話もしてくれて、ありがとう。

## 今月の論語

子曰く

「人の己を知らざるを患えず。

人を知らざるを患う。」

(現代語訳)

孔子先生がおっしゃった。

「他人が自分の実力を理解してくれない

事を嘆くことはない。他人の実力を

自分が見極められないことこそ心配

するのです。」

自分のことを誰もわかってくれなくても、

がっかりすることはありません。それよ

りも大切なことは、まわりにいる人やお

友だちなどがどんな人なのかを、自分が

正しく知ることです。

「親子で楽しむこども論語塾」(明治書院)より

今回は、九月二十三日(土)です。

西宮市立中央公民館四階 四〇一室

(文責・藤波)